

関東支部 第7回提案競技 「美しくまちをつくる、むらをつくる」

「美しい」「美しく」とは？「人に対して魅力的であるということ、人を惹きつける、行ってみたいくなる、そこに居たくなる、住みたいくなるような所。単に何となくきれいである、というのではなく、きれいであって、健康で、活気がある、または気持ちや和む、落ち着くなど、様々な要素をもたなければならない。」

美しい環境・景観は与えられるものではない。市民・住民の不断の努力によってつくり上げられたものである。「美しくまちをつくる、むらをつくる」というテーマは、市民の側に主体的に美しいまち・むらをつくらうという意識をもってもらいたいという意味を込めている。市民にそのような意識をもってもらうためには、デザインによってまちやむらはどのように美しくつくられるかが示されなければならない。これを示し得るのは、建築・都市デザイナー、

建築家、建築士などデザインの専門家、およびそれを目指す学生諸君であろう。さらにこのような意識を子どものときから育てるために、子どもたちにもこのイベントに参加してもらい、美しいまちづくりを考える楽しさを味わってもらいたい。

本提案競技は、以上の主旨のように、デザインのもつ力、重要性を社会に対して示す場を設けようとするもので、建築・都市デザイナー、建築家、建築士、学生を対象にした美しいまちづくり・むらづくりのデザインコンペティションおよび、一般を対象とした写真コンクール、小中学生を対象にした美しいまちなみ絵画コンクールを内容とした、関東支部継続事業の第7回である。ふるって参加をお願いしたい。

〈主催〉 日本建築学会 関東支部

〈共催〉 (山梨県塩山市、山梨県勝沼町、山梨県大和村、塩山市教育委員会、勝沼町教育委員会、大和村教育委員会)、日本建築学会関東支部山梨支所

* ()内は、平成17年11月1日以降、山梨県甲州市、甲州市教育委員会

〈後援予定〉 山梨県建築士会、山梨県建築士事務所協会、日本建築家協会関東甲信越支部JIA山梨クラブ、(塩山市観光協会、勝沼ぶどう郷観光協会、大和村観光協会)、山梨日日新聞社、山梨放送、テレビ山梨、日本放送協会甲府放送局、住宅金融公庫首都圏支店

* ()内は、平成17年11月1日以降、甲州市観光協会

応募規程：支部会員の部

1. 課題「美しくまちをつくる、むらをつくる」

魅力的なまちづくり、むらづくりの計画案を提案してください。必ずしも提案の実現性にはこだわりませんが、新しく誕生する甲州市のまちづくりの参考になるような説得力のある提案を望みます。

2. 対象地の概要とテーマ

1) 山梨県甲州市の概要

山梨県塩山市、勝沼町、大和村の3市町村が平成17年11月1日に合併して誕生する甲州市は甲府盆地の東部に位置し、東西約13km、南北約28km、面積264km²で、約80%を森林が占めています。北東側の大菩薩山系や秩父山系などの山々は秩父多摩甲斐国立公園に指定されており、こうした森林地域をはじめ清らかな水の流れる渓谷、河川など自然環境に恵まれた地域です。地域を流れる重川、日川、笛吹川およびその支流は複合扇状地をつくり、なだらかな斜面に広がるブドウやモモなどの果樹園は個性豊かな景観を形成しています。また、甲州市の最低地点は、重川と田草川の合流地点で海拔325m、最高地点は秩父山地の唐松尾山で海拔2,109mとなっています。こうした高低差のある地形に市街地や山間部の集落が散在し、多様な生活圏を有しています。

甲州市にはJR中央本線の甲斐大和駅、勝沼ぶどう郷駅、塩山駅の3つの駅と中央自動車道勝沼インターチェンジがあり、東京方面および名古屋・大阪方面と容易にアクセスが可能です。国道20号、国道140号、国道411号が結節する本地域は、古くから交通の要衝として多くの人々が広域的に往来し、地域産業を支えてきました。甲州市の主要産業は、生産性の高いブドウ、モモ、カキなどの果樹栽培を中心とした農業であり、地元産のブドウを使ったワインの品質は全国的にも高く評価されています。また、カキを使った「ころ柿」などの加工品の生産も盛んであり、このほかにブドウやモモ、サクランボ狩りなどの観光農園や、果樹やワインを主題とした集客・交流施設では、農産物などの物産が販売されるなど、農業を基盤とした産業も集積しています。

○東山梨地域合併協議会のホームページ(URL)

<http://fruitcountry.jp/>

○塩山市のホームページ(URL)

<http://www.city.enzan.yamanashi.jp/>

○勝沼町のホームページ(URL)

<http://www.town.katsunuma.yamanashi.jp/>

○大和村のホームページ(URL)

<http://www.vill.yamato.yamanashi.jp/>

2) テーマ：ここにしかない個性豊かな景観づくり

快適な環境のなかで市民一人ひとりがいきいきと活動することのできるような、甲州市の産業・歴史・自然・生活文化に裏打ちされたここにしかない個性豊かな景観づくりを提案してください。対象地は、「甘草屋敷」「上条集落茅葺き民家群」「県道休息勝沼線東林橋南側およびぶどうの丘」「勝沼宿」「JR甲斐大和駅」の5つの地区とその周辺とします。各地区の一部または全部に対する提案、またはいずれかひとつの地区に対する個別の提案でも、いくつかの地区にまたがる提案でも構いません。計画範囲は自由に設定してください。

甲州市は、歴史に彩られた文化遺産が数多く存在する地域であり、県内にある5つの国宝のうち3つ(塩山市：向嶽寺絹本著色達磨図、菅田神社小椋章威鬼、大袖付、勝沼町：大善寺本堂)を有するとともに、重要文化財を有する寺院や武田氏ゆかりの史跡などが数多く存在しています。また、2箇所の国指定名勝(塩山市：恵林寺庭園、向嶽寺庭園)や県指定名勝5箇所のうち3箇所(勝沼町：大善寺庭園、三光寺庭園、大和村：雲雲寺庭園)も存在します。さらにワイン醸造発祥にまつわる近代化文化遺産なども数多く点在し、甲州街道や鎌倉への古道など歴史的な街道も残り、歴史と文化を感じさせる落ち着いた雰囲気を感じ出しています。

こうした地域の一体性と多様な個性を尊重しつつ、地域に暮らす人々がともに手を携えながら、特色あるまちづくりや地域づくりを進め、社会基盤、産業基盤、地域資源、人的資源など、様々なものとの結びつきをあらゆる面で発揮し、「豊かな自然・歴史・文化に彩られた果樹園交流都市」の実現に向け、連携した甲州市を創りだしてゆくことを目標としています。

以上の点を踏まえながら、本地域の良好な自然環境や景観を維持・創出していくために、市民の誰もが「安心して」、「快適な環境のなかで」暮らし続けられるまちづくりを基本に、人々がいきいきと活動でき、生活の豊かさを実感できるような魅力的なまちづくりの提案を求めます。

3. 要求図面等

1) A1判用紙(594×841mm)1枚以内に提案をまとめてください。

2) 表現方法は自由としますが、パネル、ボードは使用しないでください。

3) 必須の項目や図面は特にありません。資料等から判断し、各応募者が課題を設定し提案してください。なお、質疑応答は特に行いません。

4. 応募資格・応募点数

1) 応募の代表者は、本会関東支部所属の個人会員もしくは準会員(作品提出時までの入会手続者を含む)であることとします(共同制作者は会員外でも可)。

2) 個人での応募または同一メンバーで構成されるグループで応募する場合は、1点のみとします。

5. 応募登録

応募登録申込書に、必要事項(氏名、会員番号、所属、連絡先住所、電話番号)を記入のうえ2005年11月30日(水)までに日本建築学会関東支部事務局へ郵送してください(消印有効)。なお、登録料(郵便為替)と資料送付用封筒(A4判封筒に登録者の宛先を記入し、390円分の切手を貼ったもの)を同封してください。登録者には、甲州市(塩山市、勝沼町、大和村)に関する資料を送付します。登録料は応募1点につき2,000円です。郵便為替を郵便局で購入し、受取人に日本建築学会関東支部と記入して同封してください。

6. 作品提出

郵送または宅配便により、日本建築学会関東支部宛に、2006年1月20日(金)までに送付してください。応募登録申込書に必要事項を記入し、封筒に密封して作品の裏にはがせるように貼りつけてください。作品中には、作成者が推測できるマーク等を表示しないでください。

地元説明会会場の変更！ 甲州市勝沼図書館 視聴覚室

山梨県甲州市勝沼町下岩崎 1034-1 TEL0553-44-3746

7. 全体スケジュール

- ・応募登録受付:2005年11月1日(火)～11月30日(水)
- ・地元説明会 :2005年11月26日(土)13:30～
- ▶**塩山公民館(山梨県甲州市塩山塩後339 TEL0553-33-4450)**に集合してください。甲州市職員の方が現地を案内して説明します(アクセスは、東京方面から電車の場合、新宿駅から中央本線塩山駅下車。ただし、塩山駅に停車しない特急もありますので時刻表をご確認ください)。
- なお、地元説明会後、「第9回リレー見学会・シンポジウム」を開催いたします。詳細:本誌p.127。
- ・応募作品受付:2006年1月13日(金)～1月20日(金)
- ・入賞者発表:入賞者には2006年2月上旬頃、通知します。また『建築雑誌』誌上と支部ホームページ上で公表します。
- ・表彰式:2006年2月18日(土)13:30～
甲州市民文化会館大会議室で行います。入賞者は参加してください。
- ・入賞作品展示会:2006年2月18日(土)～2月28日(火)
会場は甲州市民文化会館1階ロビー

8. 審査委員会

審査委員長:北村眞一(山梨大学教授)
審査委員 :甲州市長
前田昭彦(都留文科大学助教授)
樋沢博次(樋沢建築設計事務所所長)
小池舜一(日本建築学会関東支部山梨支所長)

9. 賞

- ・最優秀賞 1点(賞状、副賞30万円)
- ・優秀賞 3点(賞状、副賞5万円)
- ・甲州市長賞 3点(賞状、記念品)

10. 著作権

応募作品に関する著作権は各応募者に帰属しますが、主催者は本設計競技の主旨に照らして、応募作品の公表等をする権利を使用することができるものとします。

11. 作品の返却

返却を希望する方は、支部事務局までお越しください。なお表彰式より3カ月を経過したものは処分いたします。

応募規程：一般／小中学生の部

以下の1～10で、1)は一般の部、2)は小中学生の部。

1. 課題

「ここにしかない個性豊かな景観とまちづくり—甲州市の魅力と美しさ」

1)「甲州市の魅力と美しさ」—写真コンクール

甲州市(塩山市、勝沼町、大和村)の中で、甲州市の歴史や文化、自然に根ざした美しい風景やまちなみ・景観等の写真を撮影してください。また、あわせて、将来はこのようなまちなみや風景にしたいなど、あなたの思いを寄せてください。

2)「私たちが暮らす甲州市—こんなまちに住みたいな」—絵画コンクール

将来あなたが住んでみたい、理想の甲州市を自由に描いてください。

2. 提出作品

1)四切1枚。裏面に撮影場所・日と甲州市の景観やまちづくりに対するあなた

の思いやメッセージを記入してください。なお、コメントの字数などに制限はありません。デジタルカメラでの撮影も可とします。

2)四ツ切画用紙(380mm×540mm、縦書き、横書きのいずれも可)1枚。画材として油絵、水彩画、パステル画、クレヨン画、色鉛筆画などのほか、技法としてコラージュや半立体表現(厚さ10mm程度まで)も可とします。ただし、壁面掲示に耐えられるものとしてください。

3. 応募資格

- 1)特になし(小中学生、高校生、大学生も含む)。
- 2)甲州市(塩山市・勝沼町・大和村)内の小学校、中学校に通う児童・生徒

4. 応募登録

登録の必要はありません。

5. 作品の提出方法

- 1)提出先:甲州市役所総合政策課まで持参(1月13日(金)～1月20日(金)の平日午前8時30分～午後5時まで)、または郵送・宅配便(1月20日(金)消印有効)により提出してください。作品の裏に住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号を記入してください。
- 2)提出先:学校を通して甲州市教育委員会まで提出してください。作品の裏に学校名・学年・氏名(ふりがな)を記入してください。

6. 全体スケジュール

- ・地元説明会 :2005年11月26日(土)13:30～(支部会員の部と同じ)
- ・応募作品受付:2006年1月13日(金)～1月20日(金)
- ・入賞者の発表:2006年2月上旬頃
- 1)入賞者には通知します。
- 2)応募者の学校に通知します。
- ・表彰式:2006年2月18日(土)13:30～
甲州市民文化会館にて行います。入賞者は参加してください。
- ・入賞作品展示:2006年2月18日(土)～2月28日(火)
会場は甲州市民文化会館1階ロビー

7. 審査委員会

地元美術関係者、教育関係者など。

8. 賞

- 1)一般の部
 - ・優秀賞 1点(賞状、1万円の図書券)
 - ・甲州市長賞 2点(賞状、5千円の図書券)
 - ・入選 5点(賞状、3千円の図書券)
- 2)小中学生の部
 - ・優秀賞 2点(賞状、5千円の図書券)
 - ・甲州市長賞 2点(賞状、3千円の図書券)
 - ・甲州市教育長賞 3点(賞状、2千円の図書券)
 - ・入選 20点(賞状、1千円の図書券)

9. 著作権

応募作品に関する著作権は各応募者に帰属しますが、主催者は本設計競技の主旨に照らして、応募作品の公表等をする権利を使用することができるものとします。

10. 作品の返却

- 1)返却を希望する方は、甲州市役所総合政策課までお越しください。なお、表彰式から3カ月を経過したものは処分いたします。
- 2)作品展示会終了後に学校を通して返却します。

切り取り線

関東支部提案競技「美しくまちをつくる、むらをつくる」応募登録申込書

代表者	フリガナ	種別	会員	自宅	〒
	氏名	会員番号	No		☎
	所属(勤務先・部課・学校・学部学科)				勤務先
共同制作者	フリガナ	自宅	〒		
	氏名		☎		
	所属(勤務先・部課・学校・学部学科)		勤務先	〒 ☎	

*代表者は本会個人会員で関東支部に属していること。共同制作者が複数の場合は別紙に記入してください。